

PRESS RELEASE

With コロナの時代に、あえてシェアオフィスで仕事をする選択肢
超創造型シェアオフィス「RYOZAN PARK GRAND」11/1 オープン
～初期メンバー[限定 30 名] 先行申込受付中～

2012年にシェアハウス・シェアオフィス事業をスタートし、これまで国内外の注目を集めてきた RYOZAN PARK（運営：東邦建材工業株式会社）は2020年11月1日、6拠点目のシェアオフィス事業となる RYOZAN PARK GRAND（リョーザンパークグランド）を創業の地、巣鴨（豊島区巣鴨1-9-1 グランド東邦ビル）にオープンします。

2020年、新型コロナウイルスが猛威を振るい、あらゆるオフィス環境は変化を余儀なくされました。在宅ワークが加速し、自宅を仕事場とする人が急増したのもこの半年のことです。そんな中、2012年に41室のシェアハウスからスタートし、2015年には託児施設併設のシェアオフィスをはじめするなど、新しい暮らし方や働き方を提案し続けてきた RYOZAN PARK は、シェアオフィスに「集まって仕事をする意味」を改めて問い直し、今回の GRAND をオープンしました。主に以下の3つの特長があります。

①アーティスト集団と作った、創造性を刺激するオフィス空間：4階までである同施設は、全てアーティストや職人とのコラボレーションにより完成。国内外の自然素材をふんだんに使い、そのオフィスらしくない空間が、PCに向かい続け、無機質なオフィス環境になりがちなオフィスワーカーたちの五感を刺激します。また、2Fには、ギャラリー「MUGEN」を併設。近年ビジネスシーンでも注目されている「アート」を、より身近に感じられる環境を準備しました。



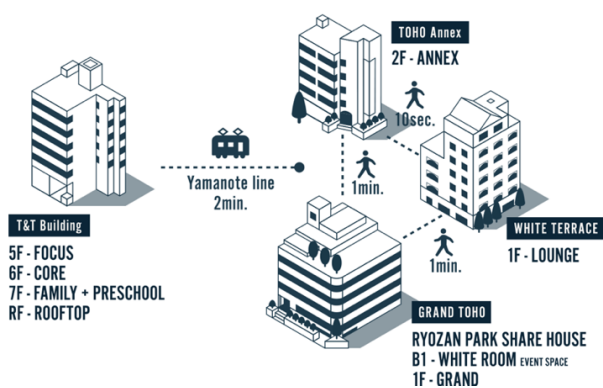
②プロ仕様の大型キッチンを併設した、**食と共にあるオフィス空間**：シェアオフィス といえば、簡易キッチンが定番ですが、1階入り口を入ってすぐの場所に、プロ仕様の大型キッチンを併設。食に関するスタートアッププレーヤーを支援するとともに、食や健康を大切にしたいオフィスワーカーたちに、自宅にはないキッチン環境を提供します。コミュニティに届く全国各地から厳選食材も魅力の一つです。

③徒歩1分圏内に2つの別施設を有して実現する、分散型オフィス環境：

徒歩1分の場所には、ANNEX（オフィス用途）、LOUNGE（ラウンジ用途）の2つの関連施設があり、メンバーは3つの拠点を自由に行き来して利用することができます。それぞれの施設を利用することで、自主的に混雑を回避できるだけでなく、気分にあわせて場所を変えられることができ、自宅でも大型シェアオフィスでも実現できない、分散型のオフィス環境を提供します。

OTSUKA

SUGAMO



<オープニングスケジュール>

シェアオフィス内覧および初期メンバーの募集（限定30名）は11/1よりスタート。また、併設するギャラリー「RYOZAN PARK GALLERY MUGEN」も11/1に同時オープンし、同日より、企画展：「空間から「場」へ—RYOZAN PARK GRANDに宿るストーリーを開催予定です。シェアオフィスの新しい形にどうぞご期待ください。

※RYOZAN PARK GRANDは、「東京都認定インキュベーション施設」として選定されています。

※料金プラン：プライベートオフィス 11.5万円～[税別]、フリーアドレス型オフィス 18,000円[税別]

*その他、打ち合わせブース・集中ブース・TELブース・会議室・スタンディングテーブル・シェアキッチン・宅配ボックス・ロッカー・複合機・Wi-Fiなど、快適なオフィス環境を備えています。入会金・事務手数料・保証金別途。

◎問い合わせ先：東邦建材工業株式会社（担当：竹沢徳剛、浦長瀬紳吾）

電話： 03-6912-0304 メール：info@ryozanpark.jp

ホームページ URL：<http://ryozanpark.com>